

平成19年（2007年）第3回市議会定例会  
提出議案市長説明要旨（19.9.28）

本定例会に提出いたしました議案について、その概要を御説明いたします。

議案第96号から議案第102号までの7件は、平成18年度横須賀市一般会計および特別会計国民健康保険費等の歳入歳出決算で、地方自治法第233条第2項の規定により、監査委員の審査を経ましたので、同条第3項の規定により議会の認定に付するため提出するものであります。

議案第103号から議案第106号までの4件は、平成18年度横須賀市水道事業会計等の決算で、地方公営企業法第30条第2項の規定により、監査委員の審査を経ましたので、同条第4項の規定により議会の認定に付するため提出するものであります。

まず、一般会計の決算について概要を申し上げます。

平成18年度の実質収支は約43億円となりました。しかし、財政調整基金と公有施設整備基金を約24億円取り崩し、前年度実質収支分の繰越金が約20億円あった結果であり、決算においても単年度の収支バランスを取ることができない、大変厳しい状況となっています。

ここ数年、本市では市税や地方交付税など市の根幹をなす収入が減少し、一方で扶助費や繰出金などの支出が増加しています。平成18年度決算においても、各項目での増減はあるものの、依然同様の傾向にあります。

今後は、集中改革プランの着実な実行に加え、事務事業等の総点

検による経常的な経費の削減に努め、早期に単年度の収支バランス均衡を図ってまいります。

特別会計および事業会計の決算については、適切な執行を図りました。今後もそれぞれの目的に沿った自立的な経営に向けて努力してまいります。

以上平成 18 年度各会計の決算について、概要と所見を申し上げました。

よろしく御審議のうえ、認定いただくようお願い申し上げます。